

令和4年度第2回小牧市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時	令和4年11月24日(木) 13時30分～15時15分
場 所	小牧市役所 本庁舎4階 404会議室
出席者	<p><b>【委員】</b>(敬称略)</p> <p>長岩 嘉文 日本福祉大学中央福祉専門学校          佐々木 成高 小牧市歯科医師会代表          福澤 広 小牧市薬剤師会代表          櫻井 佐穂 公益社団法人 愛知県歯科衛生士会代表          里見 正弘 小牧市介護支援専門員連絡協議会代表          田中 秀治 一般社団法人 愛知県社会福祉士会代表          野口 弘美 保健センター所長          木村 正尚 小牧市民生・児童委員連絡協議会代表          堀江 京子 小牧市介護相談員代表</p> <p><b>【欠席委員】</b></p> <p>前川 泰宏 一般社団法人 小牧市医師会代表</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>伊藤 俊幸 福祉部 部長          西島 宏之 福祉部 地域包括ケア推進課長          平手 明仁 福祉部 介護保険課長          倉知 佐百合 福祉部 地域包括ケア推進課福祉政策係長          吉嶺 涼太 福祉部 地域包括ケア推進課福祉政策係主事          三嶋 直美 南部地域包括支援センターケアタウン小牧管理者          青木 翔太 小牧地域包括支援センターふれあい管理者          金田 泰丈 味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷管理者          高田 かおる 篠岡地域包括支援センター小牧苑管理者          岡田 江里子 北里地域包括支援センターゆうあい管理者</p>
傍聴者	0名
配付資料	<p>次第</p> <p>資料1 評価結果(レーダーチャート)</p> <p>資料2 地域包括支援センターが第1号介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の一部を再委託する際の要件及び手順の変更について</p> <p>資料3 介護予防プラン作成委託業者の承認案件に係る持ち回り審議結果について</p> <p>参考資料1 市町村及び地域包括支援センターの評価指標</p> <p>参考資料2 令和3年度 小牧市地域包括支援センター事業報告(各包括のまとめ)</p> <p>当日資料 小牧市地域包括支援センター運営協議会委員名簿 配席表</p> <p>追加資料 第1号介護予防支援事業及び介護予防支援業務委託契約に係る審議について</p>

主な内容

<p>1. 開会</p> <p>(1) あいさつ</p> <p>・伊藤福祉部長あいさつ</p>
---

・長岩会長あいさつ

## 2. 議事

(1) 令和3年度地域包括支援センター事業の評価について

### 【市の評価結果】

- ・事務局より、資料1を用いて説明。
- ・質疑、主な意見は以下のとおり。

○長岩会長

- ・令和3年度の評価を全国平均と比較すると若干低い、小牧市の前年度と比較すると全て同じか高い評価になっている。

### 【南部地域包括支援センターケアタウン小牧の評価結果】

- ・事務局より、資料1を用いて説明。
- ・南部地域包括支援センター管理者より、令和3年度に重点的に取り組んだことの説明。
- ・質疑、主な意見は以下のとおり。

○里見委員

- ・男性介護者の交流会へはどれくらいの参加がありましたか。また、どのようなお話があったのか聞かせていただきたいです。

○事務局(南部地域包括支援センター)

- ・現在はとよめサロンで行っており、毎回おおよそ5、6名程度参加されています。前回男性介護者の交流会を行った際には、参加者の方より「もっと多くの方に参加していただくため回覧を回してほしい」という声をいただいたため、初めて地域に回覧を行いました。

○田中委員

- ・参考資料2の総合相談を見ると保険外サービスに関する相談が多くなっています、また、介護予防ケアマネジメントではサービス等に関する調整の数字が大きくなっていますが、こうした介護予防や保険外サービスにつなぐような調整があつて数字が大きくなったのか教えていただきたいです。

○事務局(南部地域包括支援センター)

- ・思い当たる点としては食事に困っているケースがあつた際に、小牧市が行っている配食サービス以外のその他の配食サービスを提案したことがあります。小牧市の安否確認を兼ねた配食サービスは朝9時や9時半に配食をされるため、お昼や夜に配食してほしい方には安否確認を包括に連絡してくれるその他の配食サービスを提案したかと思えます。

○田中委員

- ・食事関係となると背景に困窮世帯や独居の方が多いいつた、何か気付かれるようなことはありましたか。

○事務局(南部地域包括支援センター)

- ・独居の方が多いいつた、一方で要支援の段階であっても食事の問題はあるため、8050問題ではないが、家族でも朝早く出るため息子では食事の用意までは難しいといったこともあります。また、やはり栄養の部分でどうしても簡単に済ませてしまう部分もあるとは思えます。

### 【小牧地域包括支援センターふれあいの評価結果】

- ・事務局より、資料1を用いて説明。
- ・小牧地域包括支援センター管理者より、令和3年度に重点的に取り組んだことの説明。
- ・質疑、主な意見は以下のとおり。

○木村委員

- ・地区民協会議に包括も参加していただき様々な情報を得たり、要介護者ではないが援助をしてほしいと民生委員に依頼があった方に対し、包括に連絡して訪問等を行うことで困っている家庭をつなげていくことを民生委員として行っています。そのため、小牧包括が行っている民生委員とのコンタクトは大変重要な要素を持っている気がしています。
- ・民生委員の立場で今まで活動してきた中で、住民がどこに相談すればよいかわからないと話されます。包括からPRをしているがなかなか住民まで行き渡っていないのが現状であるため、どのように認知してもらうかが包括としてこれから重要ではないかと思っています。

○事務局（小牧地域包括支援センター）

- ・民生委員の方から情報をいただき、包括がアウトリーチで訪問をかけるといった対応をさせていただいています。木村委員がお話の通り包括から啓発を行っており、一度で終わりではなく継続して啓発を行っていくことが大切であると考えています。
- ・回覧板だけではなく様々な媒体を使用しながら、より多くの市民に包括支援センターという総合的な相談の窓口があることを、引き続き啓発していきたいと考えています。

○野口委員

- ・地域のチラシの全戸配布や移動販売の相談で、反響はどのくらいありましたか。

○事務局（小牧地域包括支援センター）

- ・チラシの全戸配布に関しては、チラシを見て相談に来たケースは数件の状態です。しかし、今年度地球子ども村の移動販売と基本チェックリストをイベントで行ったところ、180世帯の内18名の参加があり、少なからず反響を感じています。

○野口委員

- ・ポスティングやイベントのお知らせへの関心度から上げていくことが必要かもしれないと感じました。

**【味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷の評価結果】**

- ・事務局より、資料1を用いて説明。
- ・味岡地域包括支援センター管理者より、令和3年度に重点的に取り組んだことの説明。
- ・質疑、主な意見は以下のとおり。

○櫻井委員

- ・令和2年度の地域ケア会議の数字が他と比べて極端に低いですが何か理由はありますか。

○事務局（味岡地域包括支援センター）

- ・令和2年度はコロナウイルスの感染状況もあり、地域の方をお呼びしての開催がほぼ出来なかったことが大きな要因です。令和3年度は感染の状況を見ながら開催することが出来たため、数としては大幅に上げることが出来ました。

○長岩会長

- ・これは入所施設併設のため余計に開催が難しかったと理解すればいいですか。

○事務局（味岡地域包括支援センター）

- ・ほかの地域の方や民生委員、地域で支援している方や専門職を呼ぶとなると、場を設けることが令和2年度は感染状況もあり難しかったです。令和3年度は感染状況が落ち着いたところで開催し、場を設けることができたため数が増加しました。

○櫻井委員

- ・岩崎団地は住んでいる方が高齢化しているため、訪問販売で相談会を設けるのはとても大事なことだと思います。また、8050問題や障害を抱えている見えない方の情報収集をする工夫をす

ることはとても大切であると感じました。

○里見委員

- ・相談会を開催したことで窓口に来るようになるといった変化があったか、現状を少しお聞きしたいです。

○事務局(味岡地域包括支援センター)

- ・買い物に来ているついでにお話をさせていただき情報収集を行いながら、買ったものを部屋まで運べない人やシルバーカーを使用している人といった気になる方とお話をすることが出来ました。
- ・包括の窓口のようにゆっくりと話をするような相談会のスタイルではありませんが、包括をPRしつつ身近な相談先の一つとなっています。

【篠岡地域包括支援センター小牧苑の評価結果】

- ・事務局より、資料1を用いて説明。
- ・篠岡地域包括支援センター管理者より、令和3年度に重点的に取り組んだことの説明。
- ・質疑、主な意見は以下のとおり。

○田中委員

- ・篠岡包括には小学校区がいくつありますか。助け合いのようなものはありますか。

○事務局(篠岡地域包括支援センター)

- ・小学校区は5か所あります。福祉部会で支えあい活動を行っているところはまだ少ない現状です。

○田中委員

- ・小学校区での取り組みや包括の働きかけ等何か進捗状況がわかれば少し教えてください。

○事務局(篠岡地域包括支援センター)

- ・活動については年度末に確認をさせていただいています。コロナの影響から家の中ではなく、外の草刈りや木の伐採を手伝っているとのこと。
- ・包括はいただいたチラシを配布し情報の提供や勉強会をさせていただいています。

○田中委員

- ・包括がマッチングまでされているんですか。

○事務局(篠岡地域包括支援センター)

- ・連絡先が決まっており携帯を持っているため、利用者が直接連絡をしています。

○田中委員

- ・支えあいのすゝめのようなノウハウを地域協議会の中に持ち込むことは有効だと感じているため、参考にしながら頑張ってください。

○堀江委員

- ・高齢化が進んでいるため地域での支えあいが重要だと感じています。民生委員を通して支え合いの運動の話が聞こえる一方で、木の伐採など近所の方に厚意でやってもらうのではなく業者に頼むべきという反対の意見も聞こえました。
- ・桃花台で小牧のalkoに参加し、散歩される方が増えました。地域の人たちで挨拶や情報共有ができるようになりとても良いと思います。
- ・人に迷惑をかけたくない方といったなかなか他者に相談ができない方が気軽に相談できるよう、民生委員や包括が自然な形で地域の方々と関係がもてるとういと感じています。

○事務局(篠岡地域包括支援センター)

- ・包括としても包括をなかなか受け入れられない家や、他者に立ち入ってほしくない家が多いと

認識しています。包括も地域に顔を出しており、ご近所で困っているような方の情報を伝えてくれる電話もいただくので、民生委員と一緒に訪問等させていただければと思います。

#### 【北里地域包括支援センターゆうあいの評価結果】

- ・事務局より、資料1を用いて説明。
  - ・北里地域包括支援センター管理者より、令和3年度に重点的に取り組んだことの説明。
  - ・質疑、主な意見は以下のとおり。
- 櫻井委員
- ・コロナ禍ではありましたが令和元年から令和3年までレーダーチャートに変化があまりなく、事業が安定していたことを見ることができます。開催の方法など考えられたのでしょうか。
- 事務局（北里地域包括支援センター）
- ・密を避けて換気や体温測定を行うといった基本的なことをしっかり行っていました。また、必要に応じて地域の会館やふれあいセンターなど場所を変更し、開催にあたっての打ち合わせにかなり時間をかけ綿密に計画しました。
- 長岩会長
- ・当初から With コロナを意識して取り組んでいたのがよかったかと思います。
  - ・地域ケア会議の事例がケアマネジャーや小規模多機能、地域の方から出てきているとありましたがどのように事例があがってきていますか。
- 事務局（北里地域包括支援センター）
- ・どう関わっていけばよいのかわからないケースを包括に相談したいということで、地域ケア会議を開催してほしいという要望をいただいています。
- 長岩会長
- ・事例があがらず困っている他市町村の包括がある中、事例が自発的にあがってくるのは包括がしっかりと取り上げて一定の方向性を示すことが出来ているからだと思います。
  - ・小規模多機能は困難な事例をかなり持っていますか。
- 事務局（北里地域包括支援センター）
- ・包括の方が困難な事例を多く持っており、小規模多機能の方が適していると思った事例については包括から紹介をしています。小規模多機能でアセスメントしながら深く関わっていく中で多くの課題が出てくるため、結果として包括に再度相談の声がかかっています。
- 里見委員
- ・地域ケア会議を開催するにあたり当事者や家族から開催を拒まれるケースもありますが、どのように本人や家族から理解を得ていますか。気を付けていることも意見いただきたいです。
- 事務局（北里地域包括支援センター）
- ・ご本人に重度の認知症などがあり会議に参加が難しい場合は、必ず開催の前に包括と担当のケアマネジャーと本人に確認をとり、趣旨の説明と開催許可の言質をいただいてから開催することを心がけています。
  - ・個人情報に関しても必ず会議で守秘義務の誓約書を取り、使用した資料はすべて包括が最後に回収することを徹底しています。

#### 【評価結果の比較】

- ・質疑、主な意見は以下のとおり。
- 長岩会長
- ・2か所の包括から報告であった移動販売は同じ業者ですか。経緯も聞かせていただきたいです。

○事務局

- ・はい、同じ業者になります。
- ・経緯としては地域包括支援センターの関わりの中から生まれたものであり、地域支え合い推進員の協力もあって広がっているものです。

○長岩会長

- ・地域支え合い推進員や地域協議会と各包括の関わりは標準化されているのか。実態としては濃淡があるのか聞かせていただきたいです。

○事務局

- ・地域支え合い推進員については日常的に情報共有等連携を図っています。
- ・地域協議会については包括が十分関わりを持っていますが、地域性や地域協議会の取り組みによって異なってくるところがあると認識しています。

○佐々木委員

- ・こまき山体操の中に口腔機能低下症を予防するトレーニングが入っていないため、オーラルフレイルの観点からもよろしくお願ひしたいです。

(2) 地域包括支援センターが第1号介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の一部を再委託する際の要件及び手順の変更について

- ・事務局より、追加資料を用いて説明。
- ・質疑、主な意見は以下のとおり。

○福澤委員

- ・この手順の変更は合理的で妥当だと思いますが、事業所に所属しない介護支援専門員についてはどうなりますか。

○事務局

- ・フリーの方に頼むことは想定していないものであり、あくまで居宅介護支援事業所の事業者に再委託するという考えで進めています。

○長岩会長

- ・各委員より異議もないため、本日の時点では運営協議会の了解の議を経たとします。

○事務局

- ・この件については他市町村の事例も調査研究しながら進めていき、次回の運営協議会で最終案の提案後、運営協議会の議決を経た上で運用を開始したいと思います。

(3) 第1号介護予防支援事業及び介護予防支援業務委託契約に係る審議について

- ・事務局より、追加資料を用いて説明。

○長岩会長

- ・各委員より異議もないため、本件については認めたこととさせていただきます。

3. 報告

(1) 介護予防プラン作成委託業者の承認案件に係る持ち回り審議結果について

- ・事務局より説明。

4. 閉会